

※漢字については「読み」の答えが「書き」、「書き」の答えが「読み」になっています。

国語 五―一 (書き)	第五学年の漢字(書き)	名前	年	組	番	取り組んだ日 月 日
-------------------	-------------	----	---	---	---	---------------

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにもきをつけましょう。

① □ ていきあつ □ いどう
が □ してきた。

② □ げんいん □ とめる □ ようい
をつき □ のは □ では
ない。

③ □ しえい □ たいいくかん □ ばしょ □ うつす
の □ の □ を □ 。

④ □ かかく □ りえき □ のぞめ
この □ では、 □ は □ ない。

⑤ □ やさしい □ もんだい □ はじめる
□ から □ 。

⑥ □ ぼうえきぎょう □ いとなむ
おじは □ を □ 。

国語 五―二 (書き)	第五がく年の漢字(書き)	名前	年	組	番	取り組んだ日 月	日
-------------------	--------------	----	---	---	---	-------------	---

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにもきをつけましよう。

① □^{たい} そう □^{せんしゆ} が、 □^{おう} えん □^{だん} の □^{せい} え

んに □^{みごと} な □^{えんぎ} で □^{こたえる} 。

② □^こ きようの □^{さくら} を □^{みる} のは □^{ひさし} ぶ

りだ。

③ □^{じんこうえいせい} は □^{えいきゆう} に □^{つかえる} わけ

ではない。

④ □^{びようき} のために □^{ながい} ねむりについた。

⑤ □^{えきたい} が □^{かがくはんのう} を □^{おこす} 。

⑥ □^{えき} から □^{がつこう} までの □^{みち} を □^{おうふく} する。

国語 五―三 (書き)	第五学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだひ 月 にち					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① じょうりゆう から ひきい かこう むかう
に

② せんせい ひきい かりこうしゃ
に られて から

しんこうしゃ うつる
へと

③ かぶんすう たいぶんすう なおし
を に て

かいとう
する。

④ こころよい かぜ かいせい ひ かわら
がふく の に、

で
。すぐす

⑤ かこ かえる こと は ふかのう
を だ。

⑥ かくりつ もんだい とく
の を 。

国語 五―四 (書き)	第五学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □の□を□に□。
けんてい ごうかくしょう がく いれる

② □の□を□、□にあせをかく。
たいぼく みき はこび ひたい

③ □で□た□を□の□。
えき かつ ちょうかん しんかんせん

□で□。
しやない よむ

④ □クラスに□。
あたらしい なれる

⑤ □の□が□の□をすす。
がんか いし めがね しょう

める。

⑥ □な□を□。
きほんてき せいかつしゅうかん みなおす

国語 五―五 (書き)	第五学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

つぎ ぶん
次の文の □ に当てはまる漢字かんじを書きましか
送りがなにも気きをつけましょう。

① こうえん
に よりみち
して さかあがり
の

れんしゅう
をする。

② せいかく
な らぎょう
には たしか
な ぎじゆつ
が ひつよう
だ。

③ きしゆくしゃ
の きそく
を まもる
。

④ ひがし
の ぎやく
の ほうかく
が にし
だ。

⑤ ながれ
に さからう
ように あるく
。

⑥ きゆうしぎ
の きかい
を あたらしく
する。

国語 五十六 (書き)	第五学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① きのかのひとたちのいりは

きんしだ。

② むだんきようかいせんをこえることは

ゆるされない。

③ となりとのにひやくえんきんいつの

みせがあるが。

④ こがたせんたいへいようをこうかいする。

⑤ なつをテーマにいつくよむ。

⑥ だいすきなくるまのものをけいたうのために

ちよきんする。

国語 五―七 (書き)	第五がく年の漢字(書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りが^{おく}なにも^き気をつけましょう。

① ^{よい} ^{けいけん} ができた ^{かんしや} する。

② ^{ちち} が ^{せいめいほけん} に ^{かにゆう} する。

③ ^{へや} をできる ^{かぎり} ^{せいけつ} に ^{たもつ} 。

④ ^{ながい} ^{じかん} を ^へ て、 ^{じけん} は ^{かいけつ} 。

した。

⑤ ^{ほごしや} ^{いがい} の ^{かた} の ^{がっこうない} への ^{たち} ^{いり} を ^{せいげん} している。

⑥ ^{せいぎ} の ^{だいはっけん} までは、 ^{けわしい} ^{みち} のりだった。

国語 五十八 (書き)	第五学年の漢字 (書き)	名前	年	くみ	番
とりくんだ日 月 日					

つぎ ぶん
次の文の □ に当てはまる漢字を書きましよう。
おく
送りがなにも気をつけましよう。

① ゆうじん
に こじんてき
ななやみを そうだん
する。

② はらを へらし
た くま
が ひとごと
に

あらわれる
。

③ げんざい
の せいじ
の ありかた
を かんがえる
。

④ げんりよう
に とり
くん だ こうか
が てる
。

⑤ くすり
が きい
て、 いのち
が すくわ
れた。

⑥ きゆうきゆうしや
が いえ
の きんじよ
に ていしや
した。

国語 五—十 (書き)	第五学年のかんじ(書き)	な前 年 組 番	取り組んだ日 が つ 日
-------------------	--------------	-------------------	-----------------------

次の文の□に当てはまるかんじを書きましよう。送りがなにも気をつけましよう。

① □に□を□て
さらいげつ ふたたび けつえき とつ

□します。
けんさ

② □の□に□できるように
じつさい さいがい たいおう
そなえる。

③ □は□の□をしている。
つま りようこう じゅんぴ

④ □の□テストの□をする。
かんじ さい さいてん

⑤ □は□として□だ。
せんせい あいさいか ゆうめい

⑥ ゆう□が□をもらって□。
しょうしや しょうひん よろこび

国語 五十一 (書き)	第五学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① みずうみ しゅうい
□の□を□する。

② つみ
□をみとめ、
□する。

③ どうきばやし かこま
□に□れた□に□を
たてる。

④ さんそ はつせい
□を□させる□をする。

⑤ ざつぜん へや
□とした□をきれいにする。

⑥ ていあん さんせい
□の□に□です。

国語 五十二 (書き)	第五学ねんの漢字 (書き)	名前	ねん	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □^{えだ}を□^{ささえる}よう□^{しじ}を□^{だす}。

② □^{おおさかふ}の□^{ししや}に□^{しゅつちよう}する。

③ □^{きようし}への□^{みち}を□^{ところざす}。

④ □^{しょうねん}よ、□^{たいし}をいだけ。

⑤ □^{ひつよう}な□^{しりよう}を□^{しめす}。

⑥ □^{たかい} □^{ところざし}をもって□^{しごと}をする。

国語 五十三 (書き)	第五学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □の□た□がないか□。

② □が□の□のため□を□。

につける。

③ □は□と□れている。

④ □あたらしい□□で□を□。

⑤ □の□について□に□。

をする。

⑥ □を□する。

国ご 五—十四 (かき)	第五がく年の漢字(かき)	名前	年	組	番
とり組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字をかきましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □を、□りよう□を
がくぎよう おさめ しゅう しょうしよ

うけ とる

② □するので、□の□を
そこびえ あつで もうふ

かける。

③ □してくれた□にお□を
しゅじゅつ せんせい れい

のべる

④ □と□について□する。
しゅい じゅい べんきよう

⑤ □のかばんを□て□する。
ぬのせい もつ つうがく

国語 五十一十五 (書き)	第五学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① お [] の [] を [] 。

② [] の [] を [] 。

③ [] の [] を [] に [] 。

④ [] な [] に [] をかざる。

⑤ [] を [] てかくれる。

⑥ [] するための [] を [] 。

こく語 五十六 (書き)	第五学年の漢字 (書き)	名前	年	くみ	番
--------------------	--------------	----	---	----	---

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① じぶん の けんこうじょうたい を つね に

たしかめる。

② じょうしきはずれ の なさけ ない こうどう だ。

③ そしきない じょうほう を きょうゆう する。

④ がいこく から てっこうせき を ゆにゆう する。

⑤ きはちじょう はちじょうしま 黄八丈は八丈島に つたわる おりもの だ。

⑥ しよくにん が て ぎわよく ぬの を おる。

こく語 五十七 (書き)	第五がく年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
--------------------	---------------	----	---	---	---

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① せいじ の せいど を あらためる 。

② たいふう の いきおい が まし ている。

③ せんせい じょう ひと は に あつひ だ。

④ ぶし せいりよく つよまり の が 、 やがて

ぜんこく とういつ を した。

⑤ しあい せいしんりよく つよみ では の がものを

いう 。

⑥ にほん れきし の についで まなぶ 。

国ご 五十八 (かき)	第五学年の漢字 (かき)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次のぶんの□にあてはまる漢字をかきましょう。
送りがなにもきをつけましょう。

① は、 パーセン

トだった。

② のある にキャプテンを
 よう。

③ ですぐれた をおさめる。

④ に をつけて を 。

⑤ に を 。

⑥ の を ない。

国ご 五十九 (書き)	第五がく年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
-------------------	---------------	----	---	---	---

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □の□をとらえる。

② つい□を□てしまう。

③ □のピンチだ。

④ □を□ていた□が□に

□された。

⑤ □は□を□して□から□

した。

⑥ □はなし□あい□の□ば□を□もうける□。

国語 五十二 (書き)	第五学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① [] が [] に [] ている。

② [] の [] の [] を [] に

[] 。

③ [] でロケットの [] を []

している。

④ [] は [] から [] れている。

⑤ インド [] を [] する。

⑥ [] の [] に [] を [] 。

国語 五十二 (書き)	第五学年の漢字（書き）	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □みず かさが □まし た □ばあい に □そなえ て

□どて を □きずく 。

② □きそく を □ふやす 。

③ □はは が □いえ の □ぞうちく を □ちち に □ていあん する。

④ □どう メダルをかく □とく できて □ゆめ のようだ。

⑤ □こたえ を □みちびき □だす 。

⑥ □せんせい の □しどう で □やきゅう に □むちゅう になる。

国語 五十二 (書き)	第五学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① すいがい
[] を ふせぐ
[] 。

② かくど
[] を はかる
[] 。

③ ふそく
[] の じたい
[] に そなえる
[] 。

④ ち
[] いきの どうろ
[] を せいび
[] する。

⑤ ぼうさいくんれん
[] に さんか
[] する。

国語 五十二十三 (書き)	第五学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① ただしい はんだん を くだす。

② こころ が ゆたか になる。

③ みず が ほうふ な とち で のうぎよう を いとなむ。

④ ひようばん の よい べんごし をやとう。

⑤ さが していた ひと の いばしよ が

わかる。

⑥ むかし の じゅうぎよ について しらべる。

国語 五―二十四 (書き)	第五がく年の漢字(書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □^{そんな}をしないように□^{かいもの}をする。

② □^{にがて}な□^{がくしゅう}ないよう□^{ふくしゅう}をする。

③ □^{はは}は□^ちいきの□^{ふじんかい}に□^{ぞく}している。

④ □^{りえき}を□^{あげる}ための□^{どりよく}を

□^{つづける}。

⑤ □^{のうりつてき}に□^{しごと}をする。

⑥ □^{てきせつ}な□^{ことば}を□^{えらん}で□^{はなす}。

国語 五―二十五 (書き)	第五がく年の漢字(書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □に□を□。
ともだち ほん かす

② □をにくんで□をにくまず。
つみ ひと

③ □で□だことを□
ぼうはんきようしつ まなん ほうこく

する。

④ □の□を□する。
せいどうき ふくせいひん しゅつぴん

⑤ □を□する。
たいど ほりゆう

⑥ □のおとずれを□。
はる つげる

国語 五―二十六 (書き)	第五学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① けんこう を たもつ ために ぼういんぼうしよく はし
ない。

② うま が あばれる 。

③ ぎりにんじょう を たいせつ にする。

④ くわしい せつめい は しょうりやく します。

⑤ かいぎ を ひこうかい で おこなう 。

国語 五―二十七 (書き)	第五学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① チームの□を□。

② □をわたる。

③ いくつかの□を□する。

④ □の□を□。

⑤ □の□につく。

こく語 五―二十八 (書き)	第五学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
----------------------	--------------	----	---	---	---

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① きん ろう は こくみん の ぎむ だ。

② タンポポの わたげ が とみ。

③ しゅやく を つとめる。

④ ずこう で はんが の さくひん を つくる。

⑤ かいがい から めんか を ゆにゆう する。

国語 五―二十九 (書き)	第五がく年の漢字 (書き)	名前	年	組	ばん
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □め □が □こえる。

② □りょうしん □の □がいしゅつちゅう □は、 □おとうと □と □るすばん

をする。

③ □うつくしい □ことり □が □め □に □とまる。

④ □あね □は □かいがい □への □りゅうがく □を □きぼう □している。

⑤ □いふく □を □せいけつ □に □たもつ □。

①

②

の
を

③

ぼ
う
く
じ
は

④

に

⑤

の
を
○

国語 五―三十一 (書き)	第五学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

つぎ ぶん
次の文の □ に当てはまる漢字を書きましよう。
おく
送りがなにも気をつけましよう。

①
すいでん
□ に ひりよう
□ をまく。

②
ほしかった □ もの が □ はかく
のねだんで □ て
□ に

□ はいる
○

③
オリンピックの □ きろく
を □ やぶる
○

④
□ こえ
た □ とち
に □ やさい
を □ うえる
○

⑤
□ はたけ
に □ こえ
をやる。

国語 五十二 (書き)	第五学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □に□が□。

② □の□に□する。

③ □を□する。

④ 「□の□も□と□られる。

⑤ □には□□がある。

国語 五十三 (書き)	第五学年の漢字 (書き)	名まえ	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □ かぞく
で □ はかまいり
に □ いく。

② □ いろ
の □ たいひ
が □ うつくしい
□ かいが。

③ □ あに
とせい □ くちへ
をする。

④ □ せいこう
する □ かのうせい
が □ たかい。

⑤ □ ひとりごと
をつぶやく。

⑥ □ ぼぜん
に □ はな
をそなえる。

次の文の□にあてはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① むずかしい □ を □ ゆうをもつて

□。

② □ ガスをほり □、きよ □ の □

を □。

③ □ の □ でマフラーを □。

④ □ を □。

⑤ □ な □ は □ だ。

国語 五―三十五 (かき)	第五学年の漢字 (かき)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字をかきましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① ひこうき の ねんりよう が ふそく する。

② おとうと が ひゃつかてん で まいご になった。

③ しよくどう で なに を たべる か まよう。

④ にわ で おちば を もやし、いもを

やく。

⑤ せいかく に かいとう を かき こむ。

⑥ キャンプ じよう で まきを もす。

国語 五―三十六 (書き)	第五学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① ふんまつ の □ くすり を ふくよう する。

② どく を もつ きのこを ところ ないよう に ちゆうい する。

③ こなゆき の まう □ きせつ となつた。

④ とおく に アルプス □ さんみやく が みえる 。

⑤ いむぎい を つかつ た □ りようり を つくる 。